

新年ですので、いっしょにあいさつしましょう。「明けましておめでとうございます」
久しぶりに、皆さんの元気な顔を見ることができ、うれしく思います。

さて、突然ですが、今年年賀状を出した人は手を挙げてみてください。（挙手：多数）たくさんの方が出したようですね。私は、昨年は父が亡くなったために出せなかったわけですが、今年は150名程度の方に年賀状を出しました。年に1回、この年賀状だけの付き合いの方もたくさんいます。こちらの近況や思いを伝えると、向こうの近況や思いが返ってくる。大学受験を控えている人、家族が増えた人、東京マラソンに出た人、様々です。家族の写真であったり、干支のイラストも様々なデザインを使っていたり、個性豊かであります。年賀状を通して、多くの人とつながっていることを実感しました。日本郵便のコマーシャルをするわけではありませんが、年賀状って2学期の終業式に話した「絆」、人と人とのつながりを改めて実感できるものなんだと思いました。電話やメール等もいいですが、古くから日本にある伝統の「年賀状」をこれからも大切にしていきたいと思いました。

話は変わりますが、今年は、何年（なにどし）でしょうか。（挙手：多数）そうです、辰年です。「竜」の年。竜といえば、古くから戸隠には九頭竜という神様がいます。地主神として古くから信仰されており、奥社の隣の九頭竜神社に祭られております。昔の東宝の怪獣映画に「キングギドラ」という3つの頭と尻尾をもつ、すごく強い竜の怪獣が出てまいりましたが、九頭竜はなんと、9つの頭と尻尾を持つ竜であります。超すごいんです。

九頭竜の伝説は日本各地にあり、千葉の鹿野山（かのさん）、九州の阿蘇山、そして箱根駅伝で知られている芦ノ湖などに九頭竜の神が祭られている神社があるそうです。

九頭竜は、虫歯や縁結びにも効果があるとされておりますが、本来は水の神様であり、雨乞いの神様であります。辰年の今年、九頭竜様には水害から戸隠を守り、豊かな水を供給していただきたいと願います。

水といえば、12月22日、学校内の水が出なくなりました。戸隠中は昭和54年4月の開校当時より、地下水を汲み上げ活用してきました。長野市では戸隠中のみ、長野県内でも珍しいとのこと。ところが33年もの間働き続けてきた、その汲み上げポンプが老朽化のために壊れてしまったが原因でした。予期していなかった事態に、とても慌てました。しかし、飲み水は戸隠小や戸隠支所からポリタンク10数個に入れられて届けていただきました。トイレの水はプール横の池から先生方がバケツに汲み、一生懸命運び確保しました。大量に使う給食の水は、長野市の教育委員会の方々が水道局と連絡を取り合い、体育館横の消火栓より補給できるように手配してくれました。たった1日の出来事でしたが、水の大切さと震災に見舞われた方々の大変さのほんの一部を実感させられました。同時に、周りの方々との強い「絆」を感じることができました。

今は臨時的に消火栓より水を供給しております。今後は、工事を行い、水道水に切り替えられていく予定です。（掲示：「節水」）各階の水飲み場及びトイレに、この字が貼ってあります。水の大切さとともに、震災に見舞われた方々への思いや周りの方々との絆を日々、感じてほしいと思います。

辰の年の10日目、今日からは3学期がスタートします。

九頭竜様が見守っていてくれるこの戸隠に住む99名の中学生が、今日発表してくれた3名の生徒のようにしっかりと決意や目標を持って、一人ひとりが龍となって天高く登るが如く、成長していくことを期待したいと思います。以上。